



すすんで学ぶ
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和3年10月29日
第626号
枚方市立中宮小学校
校長 池原 義人

楽しくカ一杯の運動会を!

運動会練習



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

運動会と思うな、人生と思え!

中学生くらいになると、一生懸命になれない生徒の中で、体育祭などで頑張っている者に対して「なに必死で走ってるねん」と冷やかす者が出てきます。自分の教え子たちには、「頑張ることから逃げてきた人間が、そうすることができなくなってしまった自分を許すためのズルい方法だ」と伝えてきました。

「○○だと思うな、人生だと思え!」と有名なカリスマ熱血教師の言葉をまねて、「組体操だと思うな、人生だと思って練習しなさい。」「部活だと思うな、人生だと思え!」「掃除だと思うな、人生だと思え!」などとやってきました。でも、これ本当のことだと思のです。私は、子どもたちが、今やっていることへの取り組み姿勢は、人生につながっていると信じて指導してきました。

小学生は、たいていの子ども達が、一生懸命に練習して踊ったり、一生懸命に走ったりします。そこを最大限の表現でほめてあげてください。結果はどうであれ、一生懸命に頑張ることが素晴らしいことなんだと分かった、体験の日にしてあげてほしいのです。その体験は、必ず子ども達の人生につながるはず。大人が結果を大事にしすぎると、本当の結果がわからないような方法を選択する人間になってしまうかも知れません。心掛けることからくる演技でもいいのですが、一番よい方法は心から、頑張った我が子を愛おしく想う気持ちでほめることだと思います。お願いします。

楽しくてしょうがなかった

地球温暖化の予測モデルを開発した業績で、2021年のノーベル物理学賞に日本人の真鍋叔郎さんが選ばれました。これまでの研究で、どんなことが困難だったかの質問に「気候変動の研究が楽しくてしょうがなかったので、困難があったかもしれないけど、今、非常に面白い人生だと思っています。」と答えられたそうです。

物理と聞いただけで忘れてしまいたい記憶しかない私にとっては、それに関わる研究が「楽しくてしょうがなかった」の言葉は、想像もつかない世界です。しかし、そんな私でも、頬がこけ、体がガリガリになるまで走りまくった高校時代の部活動練習や、学年を立て直すために毎日のように真夜中まで相談しあった仲間との学年通信作りなど、傍から見ると苦しそうに見えることが、楽しくてしょうがなかった経験をもっています。同列に並べてはならないことですが、楽しく頑張れたことは同じかな?と思います。子ども達にも、早い時期にこの体験を味わってほしいと思っています。

50周年記念式典について

11月13日(土)の50周年記念式典には、枚方市長、枚方市議会議長、枚方市教育委員会教育長の参加が予定されています。式典内容は、来賓あいさつ、記念品(屋外時計)紹介、50周年記念ビデオ上映のみの簡易なものとなります。子ども達は、記念ビデオ視聴と記念クリアファイル、お祝い饅頭を持って帰るのみの参加ということになります。来賓の前で歌を披露するなど、思い出に残る式典も考えられたのですが、コロナ禍です外来賓等外部の方々との接触がないようにしました。残念ですが致し方ありません。記念ビデオについては、classroomを通じて保護者にも視聴していただけるよう準備しております。楽しみにしててください。